

学生の授業アンケートから選んだ



# TOKAI Teaching Award

## Prize Winners List 2011





東海大学学長  
高野 二郎

## 優れたカリキュラムと「いい授業」を学生に。

大学の教育機能の低下が指摘され、その改革が叫ばれるようになって久しくなります。特に近年の大学への進学率の増加と大学数の増大に伴う大学教育の質の低下に対する社会の批判は極めて大きいものと認識しています。

20世紀後半、大学拡張政策の展開により大学の役割が十分に果たせていないのではないかの懸念は、アメリカやヨーロッパ先進国でも同様であります。

他方で21世紀は知識基盤社会であることは世界の共通認識であり、大学に対する人材育成への期

待には大きいものがあります。つまり、大学が本来持つ機能を確実に果たすとすれば、それに必要な大学教育の改善が求められているのです。

そうした中で、大学は優れたカリキュラムと「いい授業」を学生に提供することが最も大切なことだと思います。

Teaching Awardを受賞された先生方は、その意味で東海大学の最も大切な先生です。他の先生方にも大いに影響を与えて頂くとともにより良い授業の開発に一層取り組んで頂くよう期待します。

## 東海大学が育成する力

自ら考え、集い、挑み、成し遂げる力。



### 自ら考える力

常に未来を見据え自らが取り組むべき課題を探索する

### 集い力

多様な人々の力を集結する

### 挑み力

困難かつ大きな課題に勇気をもって挑戦する

### 成し遂げ力

失敗や挫折を乗り越えて目標を実現していく

学生の授業アンケートから選んだ

## いい授業

2010年度を受賞者



立原	繁	先生	観光学部観光学科
小貫	大輔	先生	教養学部国際学科
小澤	治夫	先生	体育学部体育学科
佐藤	浩一	先生	外国語教育センター第二類
平野	眞	先生	課程資格教育センター教育学研究室

### こうして選ばれた「いい授業」

東海大学では「授業力向上」のために1993年度から学生による授業アンケートを行っています。「いい授業」を行っている先生方を表彰する制度『東海大学 Teaching Award』は、1年間に開講されたすべての授業を対象に、このアンケート結果から「授業を通じて達成できたこと」や「総合評価値」を集計し、学部等各組織ごとに集計点の高い計22名の受賞候補者を選出、さらに候補者の集計結果を標準化して2010年度は5名の先生を優秀賞受賞者として学長室を中心としたTeaching Award 選考会で決定しました。

#### 記載内容の注意とお願い

- 授業科目は2011年度春学期、秋学期の「主な授業科目3科目」です。
- 授業内容はキャンパスライフエンジンから「シラバス検索」で確認できます。
- 教職員の皆さんが授業を見学する場合は「授業時間割表」で教室を確認し授業開始前に先生に申し出て見学してください。
- 所属は2011年4月現在です。



TOKAI Teaching Award Prize Winner 2011



観光学部観光学科

立原 繁 先生

ts52164@tsc.u-tokai.ac.jp

### 立原先生の「分かる授業」を作る授業テクニック

#### 👉 分かり易い!

毎回の授業の冒頭に、今日行う講義の目的、経営学としての位置づけ、大事なポイント(キーワード)を明確にして学生に伝えます。そうする事によって、「学生が今、何を学んでいるか」を学生自身に認識してもらえよう心がけています。

#### 👉 関心が持てる!

経営学の対象は「会社」です。したがって、その会社は様々な企業行動を行いますので、現在会社が行っている事例を具体的に取り上げ、そのトピックスを経営理論に合わせて授業を展開しています。理論について具体的な事例で触れることによって、より深くを理解できると思います。

#### 👉 聞き取り易い!

たくさんのお話を話そうとするとどうしても早口になってしまう。その時は出来るだけキーワードを板書して明確な声量で伝えられるように努力しています。

#### 2011年度春学期

科目名	必選	単位	開講校舎
ファーストイヤーセミナー 1	○	2	湘南
観光経営論	×	2	湘南

#### 2011年度秋学期

科目名	必選	単位	開講校舎
ファーストイヤーセミナー 2	○	2	湘南
観光経営論	×	2	湘南
社会基礎論	×	2	湘南

## 学生の「疑問」に徹底的に答える

学生は近い将来、就職活動など「会社」というものにかかわります。しかし、その会社について何も知りません。私の専門は経営学ですから、その学生が持っている会社に対する不安や疑問に徹底的に答えることを心がけています。

特に、会社を「良い会社」「悪い会社」「強い会社」「弱い会社」の4つの範疇に分けて、わかりやすく会社を分析することによって、学生自身が会社を身近なものに感じられることを目指しています。

#### 授業をよくするために活用されていること

#### 小レポート

小レポート提出時に授業への要望があれば書いてもらうようにしています。学生が授業で聞きたいこと、まだ良くわからない疑問点を知るうえで活用しています。

### Student Voice

体育学部スポーツ・レジャーマネジメント学科  
4年 岩下博哉さん

難しい経営理論も、身近な事例を取り上げて説明してくださるので、初学者でもわかりやすい授業です。実践的な内容も多く、授業を通じて「“会社”をみる目」を養うことができました。質問や進路相談にも親身に対応してくださり、大変感謝しています。





2010年度  
優秀賞

2007年度  
優秀賞

TOKAI Teaching Award Prize Winner 2011



Daisuke  
Onuki

教養学部国際学科

小貫大輔 先生

bj.daisuke@gmail.com

### 小貫先生の「分かる授業」を作る授業テクニック

#### 👉 分かり易い!

学生が「関心を持つ」、「興味を深める」ことを大切に思うので、彼らが「自分で気づく」、「ハッとする」という効果を狙って、パワーポイントでグラフや表、地図や写真を見せることが多いです。

#### 👉 関心が持てる!

授業では、遠くの国の貧しい人々の教育や健康、女性の地位や貧富の格差の問題について学ぶのですが、それらの「遠い」テーマを「身近に」引き寄せて、自分自身の性や将来の結婚、人生の夢やライフスタイル設計に役立つヒントを散りばめるようにしています。

#### 👉 聞き取り易い!

特に英語でディスカッションする授業では、聞き取りの力に学生間の個人差が大きいので、私が率先して口を差し挟んで、「もう一度言ってください」、「もっと説明してください」、「黒板に書いてください」などとサポートをしています。

#### 2011年度春学期

科目名	必選	単位	開講校舎
ラテン・アメリカ研究	×	2	湘南
国際協力とNGO	×	4	湘南
人間学 1	○	2	湘南

#### 2011年度秋学期

科目名	必選	単位	開講校舎
基礎ゼミナール 2	○	2	湘南
GLOBAL ISSUES	×	4	湘南

## 「関心」を育む 「参加型」授業

「GLOBAL ISSUES」や「国際協力とNGO」などの授業を担当しています。遠くの国とは言えこの同じ時代を生きる人々の人生に「関心を持つこと」、「関わること」…、その力が学生に育つことを授業の目標にしています。そのために大切にしているのが「参加型」授業です。座り方にしても教師が全ての学生と対面する「講義型」ではなく、可能な限り輪になって、あるいは小グループごとに机を囲む形で、学生同士が顔を向かい合わせるようにしています。カラー付箋紙のような小道具を使ってブレインストーミングをしてもらうことで、騒がしいまでに発話が引き出せます。留学生など多様な学生の受講・聴講を促し、学生同士がお互いを知りあい、お互いの経験や発想から何かを得るようにと心がけています。

授業をよくするために ミニッツペーパー、FDに活用されていること する講演会や研究会への出席

毎回必ずミニッツ・ペーパーに書いてもらって、学生の理解度や関心をチェックします。行き詰ると参加型授業の専門家の友人に相談して、アイデアをもらってくるようにしています。

### Student Voice

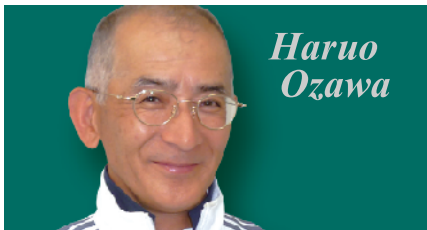
教養学部国際学科2年 小田切真依さん

ゲストスピーカーを招いた授業やグループワークが多く、いろいろな人の考えに触れることができます。自分の意見も発言しやすく、考える力が養われる授業だと思います。授業を通じて貧困地域の具体的な状況を知り、もっと助けたいという気持ちになりました。





## TOKAI Teaching Award Prize Winner 2011



体育学部体育学科

小澤治夫 先生



# ドラマのように

### 小澤先生の「分かる授業」を作る授業テクニック

#### 👉 分かり易い!

学習内容は高度でも、教具を用いたり小学生でも理解できる言葉に置き換えたりして分かりやすく説明します。素材をどう料理して美味しい食事(教材)にするかを心がけています。

#### 👉 関心が持てる!

学生の身近な題材や私自身の経験あるいは社会的な出来事などを授業の中に散りばめ、学習内容と関連させて展開するように工夫しています。

#### 👉 聞き取り易い!

声の大きさ、アクセント、イントネーションには常に気を配っています。また教室の音の反響度、マイクの使い方やその大きさも聞き取りやすさに関係しますので注意しています。昔、演劇部に在籍していたことが生きています。

#### 2011年度春学期

科目名	必選	単位	開講校舎
体育・スポーツの見方	○	2	湘南
学校体育概論	×	2	湘南
保健体育学習指導法演習	×	2	湘南

#### 2011年度秋学期

科目名	必選	単位	開講校舎
体育・スポーツの見方	○	2	湘南
体育・スポーツ科学研究セミナー(Ⅰ~Ⅳ)	○	2	湘南
保健体育教材論	×	2	湘南

「いい授業」の条件は「雰囲気が良い」「勢いがある」ことです。そんな授業は教師からの発問・説明や投げかけ、そして問題や疑問を解きながら教師と学生が一体となって90分間過ぎていく、いわばドラマのようでもあります。こんな授業が展開されるために教師は「意味のあること」つまりよい教材を、「熱意をもって」「上手に」教えなければなりません。そして学生諸君が「楽しかったけれど大変だった」「大変だったけれど楽しかった」と感じるような授業、そして何よりも教師自身が楽しかったと感じるような授業であると考えています。

#### 授業をよくするために活用されていること

ミニッツペーパー

授業終了時には必ず授業アンケートをとり、すべて目を通して疑問があれば次週解説しています。授業の出来栄は、このミニッツペーパーでだいたい掴めます。

### Student Voice

体育学部体育学科3年 白川 敦さん、小川祥世さん、忍穂井大樹さん

先生の授業は「雰囲気がよく」「勢いがあります」。私達学生に話しかけながら授業をすすめていくので、いつも笑顔と歓声があふれています。豊富な知識と経験を織り交ぜた先生のお話はとても興味深く、いつのまにかひきこまれてしまいます。





TOKAI Teaching Award Prize Winner 2011



外国語教育センター第二類

佐藤浩一 先生

zuotenghaoyi@tokai-u.jp

佐藤先生の「分かる授業」を作る授業テクニック

**分かり易い!**

繰り返しの説明。繰り返しの質問。質問は易しくした上で、小出しにします。心理的圧迫とならぬよう、間違っても怒りませんし、減点もしませんし、印象も悪くしない、と宣言しています。

**関心が持てる!**

学生の多くが、①中国語検定試験の対策、②文化にまで踏み込んだ解説、③中国の音楽——を授業に求めているので、それらを充たすべく、適宜、授業内に散りばめています。

**聞き取り易い!**

はっきり、ゆっくり話すのは当然ながら、さらには、面白く話そうに心がけています。学生のほうから好意的に耳を傾けて来てくれるからです。教員が一方的に声を張り上げて話す以上に、聞き取ってもらえているかもしれません。

授業をよくするために活用されていること

キャンパスライフエンジン

お知らせ機能を用いた講義連絡や教材揭示。ただし多くの学生は携帯にも転送設定しているようなので、他の講義の妨げとならぬように、午後18時以降に転送されるような設定をした上で、揭示しています。

2011年度春学期

科目名	必選	単位	開講校舎
中国語コミュニケーション(I・II)	×	2	湘南
国際学のための各国語(応用1)	○	2	湘南

2011年度秋学期

科目名	必選	単位	開講校舎
中国語コミュニケーション(I・II)	×	2	湘南

# 歌うように中国語

- ①中国語は音楽のような美しさです。その美しさを共有する授業をめざしています。言ってみれば「ちゃい語カンタービレ(歌うように。表情豊かに)」。
- ②90分の間地点で中国の音楽を紹介し、文化背景を解説しています。息抜きにもなり、程よいテンションを持続できます。
- ③授業態度は、他人に迷惑をかけないことを前提に、全て自由。その態度によって最高の状態で臨めるならば、尊重かつ許容しています。メールや居眠りは授業と無関係なので認めません。
- ④最初の回で授業への希望を書いてもらい、柔軟な対応を心がけています。
- ⑤東海大学の学生を好きでありたい、と思ひ教壇に立っています。

## Student Voice

教養学部人間環境学科自然環境課程3年 小宮山一徳さん

中国の音楽を紹介する「文化コーナー」がとても大好きで、毎回楽しんで授業に参加しています。また、他の学生とペアとなって、問題を解くのも楽しみの一つです。先生のおかげで、勉強が楽しくなり中国語学習に対するモチベーションが上がりました。



政治経済学部経済学科3年 小野竜介さん

先生のお話から中国が好きだという想いがひしひしと伝わり、この授業をきっかけに中国に興味を持つようになりました。分からないことを質問すれば理解できるまでとことん付き合ってくれて、どんな学生にも平等に接してくれる尊敬できる先生です。





TOKAI Teaching Award Prize Winner 2011



課程資格教育センター教育学研究室

平野 眞 先生

hiras@keyaki.cc.u-tokai.ac.jp

平野先生の「分かる授業」を作る授業テクニック

👉 分かり易い!

毎回、授業の展開手順と板書内容を主体としたメモを作成しています。手順では先行オーガナイザーを重視し、板書では曖昧さの少ない言葉を選択するようにしています。また、授業終了直後に反省メモを作成しています。

👉 関心が持てる!

理論の具体例、日常例、応用例を自分の学生時代、家庭、書籍、新聞・テレビ、ネットなどのあらゆる分野から可能な限り多く取り入れ、理論への親近度を高めるようにしています。

👉 聞き取り易い!

3点を注意しています。マイクを口から一定の距離に保ち続けること、重要な点では「ここは重要」と前もって注意を促すこと、学生の顔を見ながら緩急をつけて話すことです。

# 「いい授業」のための3つの方法

特別の工夫というものはありませんが、以下の3点は私の授業に共通しています。

- ①授業で扱う主要概念や重要理論は、それが生み出された時代背景や提唱者の人となりまで説明します。学生の関心が高まるとともに、現在学んでいることの学問上の位置が確認できて理解しやすくなるようです。
- ②どのような理論にも必ず日常例を多く挙げます。これにより学生の理解が深化すると考えています。
- ③パワーポイントを使わず、黒板に「板書」します。時代に逆行しているようですが、教える内容が精選され、授業に間合いができませんし、学生はノートを自分なりに工夫して書写します。板書しつつ学生と対話を楽しみますが、たまに誤字も指摘されます(笑)。

2011年度春学期

科目名	必選	単位	開講校舎
教育心理学	※	2	湘南
学習指導論	※	2	湘南
教育相談	※	2	湘南

2011年度秋学期

科目名	必選	単位	開講校舎
教育心理学	※	2	湘南
学習指導論	※	2	湘南
教育相談	※	2	湘南

## Student Voice

文学部歴史学科日本史専攻2年  
南谷有紗さん

先生ご自身のエピソードなど具体例が多く取り上げられており、とにかく話の内容が面白い授業です。丁寧な板書、聞き取りやすい声というのも、理解しやすい要因だと思います。気さくで、教員と学生の壁を感じさせない先生です。





# TOKAI Teaching Award

Prize Winners List 2002~2009

## 2002~2009年度 Teaching Award 受賞者一覧

文学部日本文学科	中村 孝一 先生	2007年度優秀賞 2007年優秀賞
文学部文芸創作学科	堀 啓子 先生	2007年優秀賞
文学部英語文化コミュニケーション学科	河合 優子 先生	2006年度優秀賞
文学部英語文化コミュニケーション学科	斎藤 早苗 先生	2003年度優秀賞
文学部英語文化コミュニケーション学科	川崎 修一 先生	2006年度優秀賞 2003年度優秀賞
文学部心理・社会学科	浅井 千秋 先生	2007年度優秀賞
政治経済学部経営学科	岩谷 昌樹 先生	2009年優秀賞 2006年優秀賞
総合経営学部マネジメント学科	田中 靖久 先生	2009年度優秀賞
法学部法律学科	田上麻衣子 先生	2009年度優秀賞
教養学部芸術学科音楽学課程	梶井龍太郎 先生	2004年度優秀賞 2003年度優秀賞
教養学部国際学科	カータージェフリーG 先生	2005年度優秀賞
教養学部国際学科	小貫 大輔 先生	2007年度優秀賞
教養学部国際学科	高橋 宏明 先生	2005年度優秀賞 2004年度優秀賞
教養学部国際学科	高橋 祐三 先生	2002年度優秀賞
国際文化学部地域創造学科	広川龍太郎 先生	2007年優秀賞
国際文化学部国際コミュニケーション学科	張 雷 先生	2007年度優秀賞
国際文化学部国際コミュニケーション学科	ハミルトンマークC 先生	2007年度優秀賞
理学部数学科(沼津教養教育センター)	古谷 康雄 先生	2006年度優秀賞
理学部情報数理学科	土屋 守正 先生	2007年度優秀賞
理学部情報数理学科	神居 雅志 先生	2007年優秀賞
理学部物理学科	遠藤 雅守 先生	2005年度優秀賞
理学部物理学科	江川 浩 先生	2004年度優秀賞 2003年度優秀賞
理学部化学科	関根 嘉香 先生	2008年度優秀賞 2004年度優秀賞 2003年度優秀賞
理学部基礎教育研究室	及川 義道 先生	2002年度優秀賞
情報理工学部情報科学科	内田 理 先生	2005年度優秀賞
情報理工学部コンピュータ応用工学科	浅川 毅 先生	2007年度優秀賞 2002年度優秀賞
情報通信学部情報メディア学科	濱本 和彦 先生	2002年度優秀賞

情報通信学部経営システム工学科	西口 宏美 先生	2007年優秀賞
情報通信学部経営システム工学科	森山 弘海 先生	2004年度優秀賞 2003年度優秀賞
工学部応用化学科	久慈 俊郎 先生	2007年度最優秀賞
工学部応用化学科	長瀬 裕 先生	2005年度優秀賞
工学部電気電子工学科	大山龍一郎 先生	2006年度優秀賞
工学部建築学科	羽生 修二 先生	2006年度優秀賞
工学部機械工学科	神崎 昌郎 先生	2004年度優秀賞
工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻	笹田榮四郎 先生	2007年度優秀賞 2007年優秀賞
工学部航空宇宙学科航空操縦学専攻	大川 良彰 先生	2007年度優秀賞 2007年優秀賞
芸術工学部くらしデザイン学科	中尾 紀行 先生	2007年度優秀賞
芸術工学部建築・環境デザイン学科	田川 正毅 先生	2007年優秀賞
海洋学部海洋文明学科	吉田 厚子 先生	2009年度優秀賞 2005年度優秀賞 2002年度最優秀賞
海洋学部水産学科	魚谷 逸朗 先生	2002年度優秀賞
海洋学部水産学科	鈴木 伸洋 先生	2006年度優秀賞
海洋学部海洋生物学科	齋藤 俊郎 先生	2005年度優秀賞
海洋学部海洋生物学科	村山 司 先生	2007年優秀賞 2004年度優秀賞
生物理工学部生物工学科	笠原 宏一 先生	2007年度優秀賞
生物理工学部海洋生物科学科	津村 憲 先生	2009年度優秀賞
農学部応用植物科学科	松田 靖 先生	2006年度優秀賞
農学部応用動物科学科	仁木 隆博 先生	2008年度優秀賞
体育学部体育学科	今村 修 先生	2005年度優秀賞 2003年度最優秀賞
体育学部体育学科	小澤 治夫 先生	2007年優秀賞
体育学部競技スポーツ学科	高妻 容一 先生	2002年度最優秀賞
体育学部生涯スポーツ学科	野間口英敏 先生	2006年度最優秀賞
健康科学部看護学科	石井 美里 先生	2007年度優秀賞
健康科学部看護学科	寺山 範子 先生	2008年度優秀賞
健康科学部社会福祉学科	北野 庸子 先生	2004年度優秀賞
総合教育センター	葉 千栄 先生	2007年最優秀賞 2003年度優秀賞 2002年度優秀賞
総合教育センター(阿蘇教養教育センター)	井上久美子 先生	2007年度優秀賞
外国語教育センター第一類	稲垣 善律 先生	2007年度優秀賞
外国語教育センター第一類	栗原 ゆか 先生	2008年度優秀賞
外国語教育センター第一類(高輪教養教育センター)	ジェイヴィンストラ 先生	2009年度優秀賞
外国語教育センター第二類	安 小鉄 先生	2006年度優秀賞
課程資格教育センター教育学研究室	朝倉 徹 先生	2005年度優秀賞 2004年度最優秀賞
課程資格教育センター教育学研究室	杉崎 雅子 先生	2007年優秀賞
教育研究所	有沢 孝治 先生	2008年度優秀賞 2006年度優秀賞
総合科学技術研究所	林 義正 先生	2002年度優秀賞 2003年度優秀賞

<訂正版>杉崎雅子先生を追加致しました。(2011.6.24)  
 ※退職者、掲載辞退者を除いています。

# だんだん増える「いい授業」

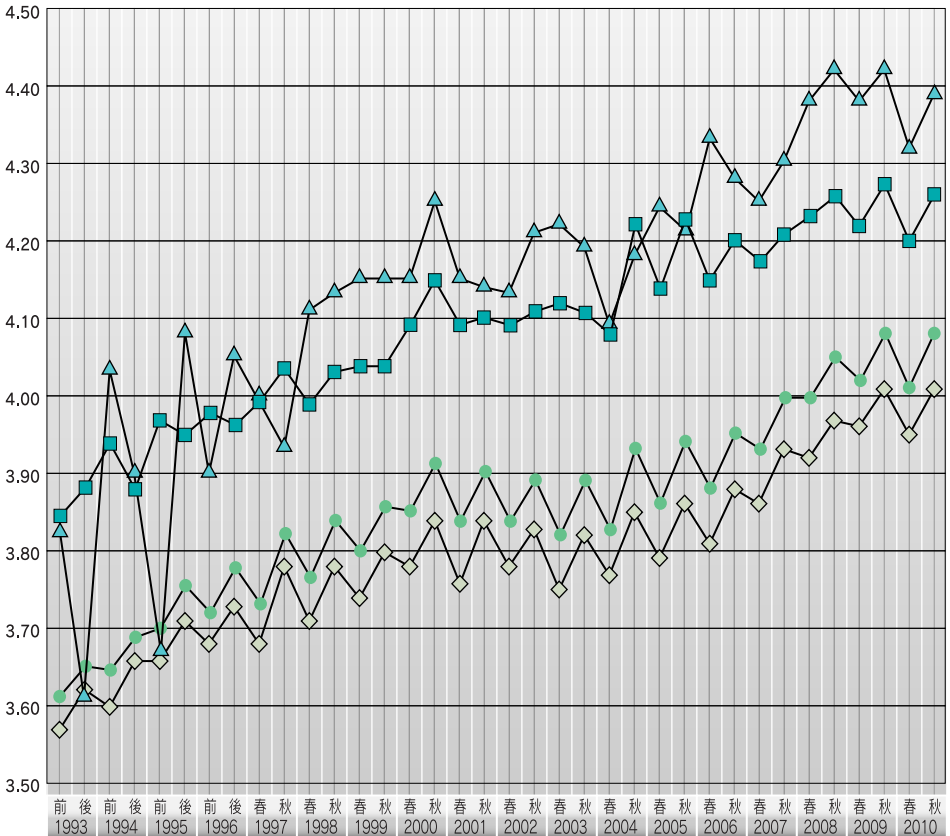
「授業についてのアンケート」総合評価 (2010年度秋学期)

**4.08** が平均です。(5点満点)

「授業についてのアンケート」総合評価の推移 (全教員)

総合評価

- 全科目の平均
- ◇ 講義科目
- ▲ ゼミ・卒研科目
- 実験・実習科目



年度・学期

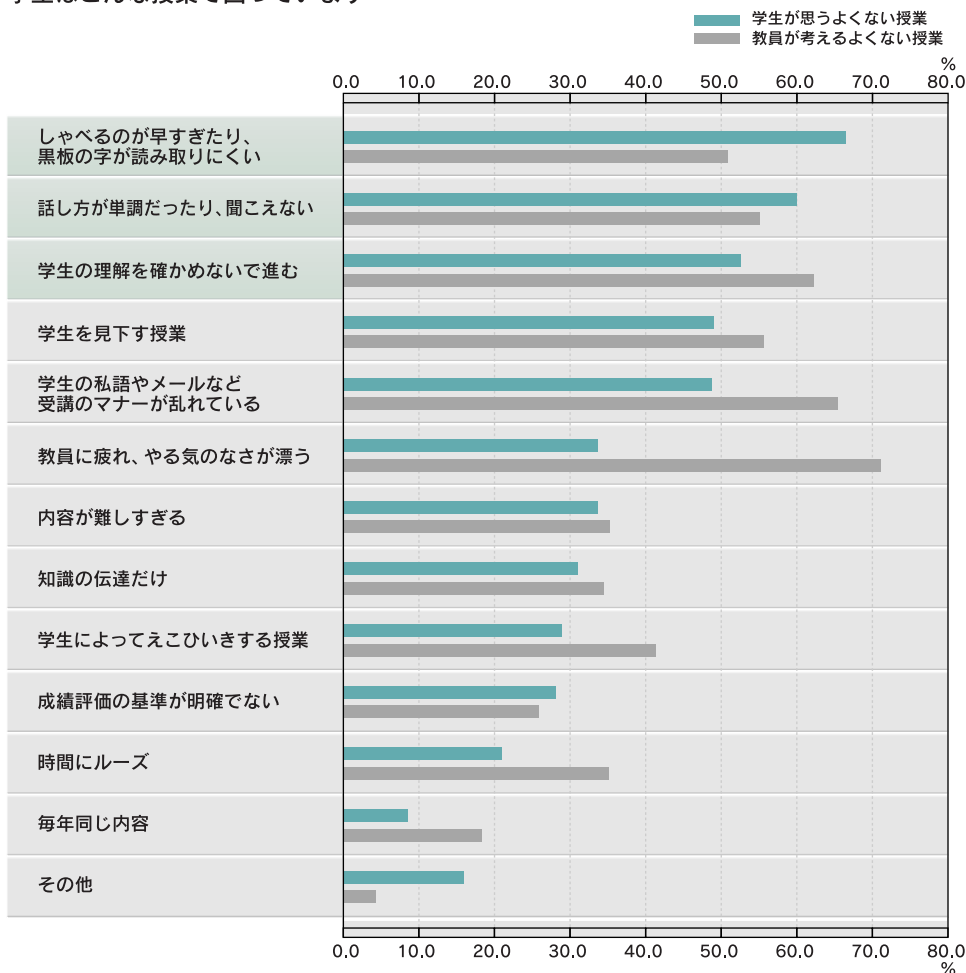
## 「よくない授業」ワースト3

1 シャベるのが早すぎる・板書の字が読み取りにくい

2 話し方が単調・聞こえにくい

3 学生の理解を確かめないで進む

学生はこんな授業で困っています



「いい授業」「よくない授業」アンケート(2007年秋実施)

# 「いい授業」はここが違う

「わかる授業」の要素

分かり易い

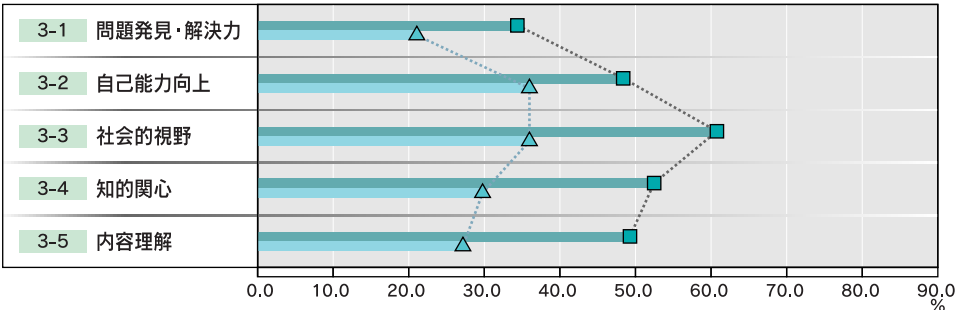
関心が持てる

聞き取り易い

## Teaching Award 受賞者と講義科目全体との比較 (2010年度)

「授業についてのアンケート」問3 授業を通じて達成できたこと

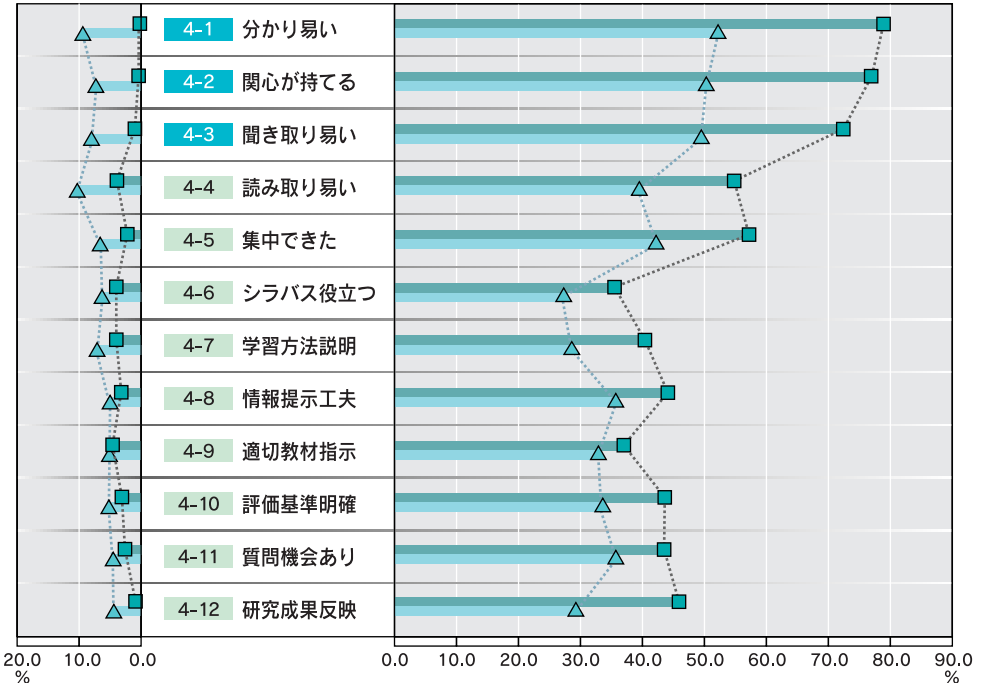
■ TA受賞者  
▲ 講義全体



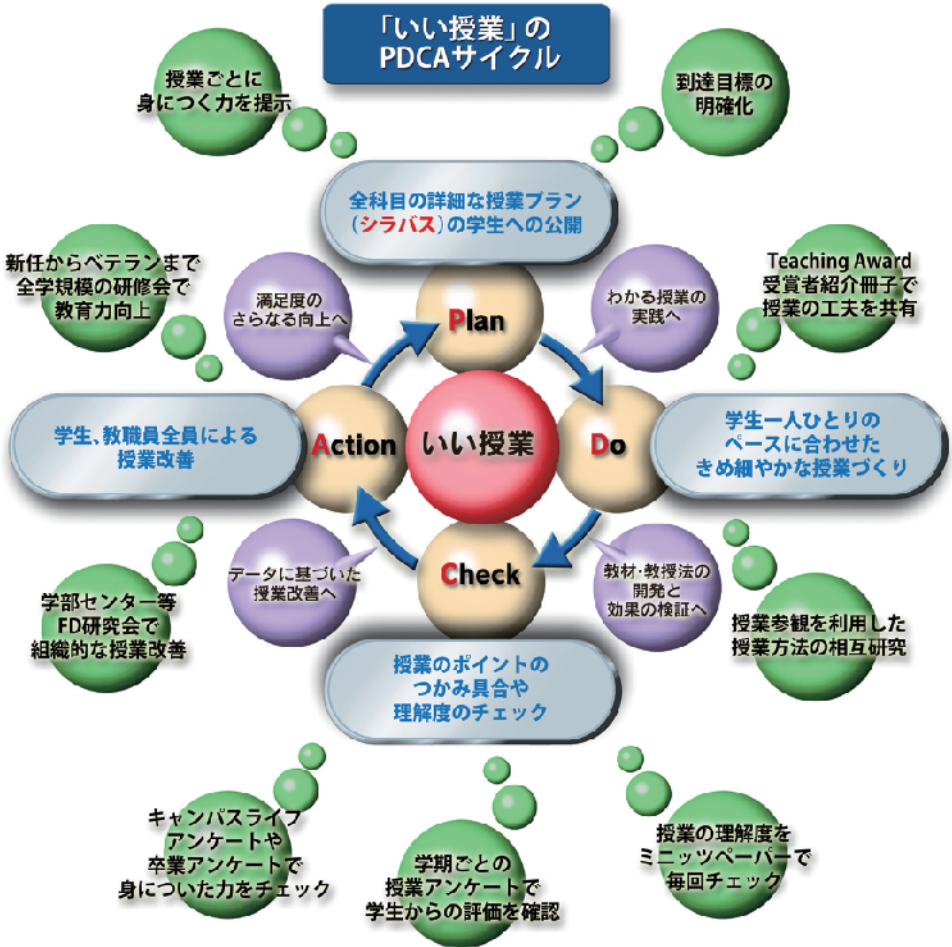
「授業についてのアンケート」問4 授業について「良かった点」・「改善してほしい点」

「改善してほしい」と答えた率

「良かった」と答えた率



東海大学は「いい授業」のために  
大学をあげて教育力向上を推進しています。



学生の授業アンケート  
から選んだ

## いい授業

授業アンケートをもとに優れた授業を行っている先生方を表彰する制度「東海大学 Teaching Award」。そこで表彰された先生方の授業の工夫を紹介した冊子を発行しています。

COMMUNICATION NEWS



コミュニケーションニュース

FDや高大連携に関する情報や提案、学部等のFD研修を紹介しています。

授業についてのアンケート

## 授業アンケート

授業に対する学生の意見などを調査し、その結果を授業内容の充実に役立てています。  
(春・秋学期ごとに実施)

ミニッツペーパー  
MINUTE PAPER

学生にその日の授業の理解度や感想を記入してもらい、次回の授業に活かすことができます。

## 入学前教育

入学内定者に対する教育を支援します。

サイバーキャンパス

T I C U

TOKAI INTERNATIONAL CYBER UNIVERSITY

ネット学習

誰もがいつでも勉学できる学習コンテンツをe-Learningによって提供しています。

<http://www.cyber.u-tokai.ac.jp>

E-NAVI

英語の学習の相談やレベルアップに必要な学習指導を行っています。(湘南校舎)

東海大学は

教員・職員の協働で教育を行っています

S-NAVI

1年次生に向けた数学・物理学・化学学習の応援室。個人レベルに合わせて指導・アドバイスしています。(湘南校舎)

キャンパスライフ  
アンケート  
卒業にあたっての  
アンケート

各種アンケートで大学生生活の状況を把握し、教育改革に活かします。

## 授業参観

授業改善のために全教員の授業を公開し授業参観を進めています。

FD  
研究会

学部・センターがFD活動を積極的に展開し、本学の教育の質の向上に努めています。

FD  
研修会

授業改善・教育方向上に必要な研修会を開催しています。

教育支援センター  
講演会

教育活動の活性化を図ることを目的に、学外から講師を招いて開催しています。  
(全教職員対象。ビデオ貸出可)

新任教員  
大学説明会  
フォローアップ  
研修会

新任の先生方に「東海大学の理念と教育方針、教育・研究支援体制」を理解していただき授業に役立つ教授法などの研修をします。

## 「授業アンケート」結果はWebで公開されています。

学内コンピュータ室のパソコンから見るができます。



学生の皆さんへ



キャンパスライフエンジン



データベース：授業アンケート



先生方へ



教職員ポータル



Webオフィス



各種情報「授業についてのアンケート」



*TOKAI Teaching Award*

*Prize Winners List 2011*



東海大学 Teaching Award 2011



TOKAI UNIVERSITY EDUCATIONAL SUPPORT CENTER

発行：東海大学教育支援センター 編集：教育支援センター 教育支援課 TEL.0463-58-1211(内線2087) 発行日：2011年6月15日  
URL <http://www.esc.u-tokai.ac.jp/> E-mail : [shien@tsc.u-tokai.ac.jp](mailto:shien@tsc.u-tokai.ac.jp)